

# Fujitsu Enterprise Postgres 15 SP2

## プログラム修正一覧

Linux

J2UL-2835-03ZJZ0(00)  
2024年1月

# まえがき

---

本書では、今回のバージョン・レベルで修正された障害内容について説明しています。

なお、本文中の記載内容は予告なしに変更される場合があります。

## 表記について

以下の表で、エディションごとの修正状況を示します。

| 障害番号       | 障害内容     |
|------------|----------|
| 障害を一意に示す番号 | 障害内容のサマリ |

## 輸出管理規制について

本ドキュメントを輸出または第三者へ提供する場合は、お客様が居住する国および米国輸出管理関連法規等の規制をご確認のうえ、必要な手続きをおとりください。

## 出版年月および版数

|       |     |     |
|-------|-----|-----|
| 2024年 | 1月  | 第3版 |
| 2023年 | 10月 | 第2版 |
| 2023年 | 4月  | 初版  |

## 著作権

Copyright 2022-2024 Fujitsu Limited

# 第1章 修正内容

本バージョンでは、以下で実施済みの障害修正を吸収しています。

- PostgreSQL 15
- PostgreSQL 15.1
- PostgreSQL 15.2
- PostgreSQL 15.3
- PostgreSQL 15.4
- PostgreSQL 15.5



## 参照

実施済の障害修正に関しては、以下を参照してください。

PostgreSQL Global Development GroupのWebサイト内:

### [PostgreSQL 15]

<https://www.postgresql.org/docs/15/release-15.html>

### [PostgreSQL 15.1]

<https://www.postgresql.org/docs/15/release-15-1.html>

### [PostgreSQL 15.2]

<https://www.postgresql.org/docs/15/release-15-2.html>

### [PostgreSQL 15.3]

<https://www.postgresql.org/docs/15/release-15-3.html>

### [PostgreSQL 15.4]

<https://www.postgresql.org/docs/15/release-15-4.html>

### [PostgreSQL 15.5]

<https://www.postgresql.org/docs/15/release-15-5.html>

また、本ソフトウェアでは以前のバージョンで発生した障害が修正されています。

今回のバージョンレベルで吸収された修正内容、および修正番号については、以下を参照してください。

- [Fujitsu Enterprise Postgres 15 SP2のプログラム修正一覧](#)
- [Fujitsu Enterprise Postgres 15 SP1のプログラム修正一覧](#)
- [Fujitsu Enterprise Postgres 15のプログラム修正一覧](#)

## Fujitsu Enterprise Postgres 15 SP2のプログラム修正一覧

| 障害番号    | 障害内容  |
|---------|---|
| PH17589 | backup_destinationのディレクトリの権限の値に誤りがありました。  |
| PH23241 | pg_hint_plan 1.5.0、1.5.1 の変更を本製品に反映します。   |
| PH23344 | 本製品に同梱するOpenSSLのメジャーバージョンを1から3に変更します。   |
| PH23407 | Fujitsu Enterprise Postgres 15に対応したpg_statsinfo 15.2を提供します。                                   |
| PH23434 | PostgreSQL 15.5で吸収された障害修正を、Fujitsu Enterprise Postgresに反映します。                                 |
| PH20174 | pg_statsinfoでautovacuumに関する統計情報を取得できない場合があります。  |
| PH23041 | EXPLAIN文を実行したとき、postgresがダウンする場合があります。  |
| PH23197 | Connection ManagerとDBサーバ間の通信が切断されたとき、アプリケーションにおいてSQL実行エラー時のエラーメッセージを取得できない場合があります。            |
| PH23286 | スタンバイサーバで障害を検知した際、切り離し前コマンドが実行されず、shutdown_detached_synchronous_standbyがonでもスタンバイサーバが停止されません。 |
| PH23288 | Mirroring Controllerによる異常検知後、自動切り替えが開始されるまでに65秒かかってしまう場合があります。                                |
| PH23295 | ディスクが無応答になった場合、異常検知が実施されず、自動切り替え/切り離しが実施されません。  |
| PH23411 | Fujitsu Enterprise Postgres 15に対応したpg_dbms_stats 14.0を提供します。                                  |
| PH23246 | Pgpool-II 4.4.1、4.4.2、4.4.3、4.4.4 で吸収された障害修正を、Fujitsu Enterprise Postgresに反映します。              |

## Fujitsu Enterprise Postgres 15 SP1のプログラム修正一覧

| 障害番号    | 障害内容  |
|---------|---|
| PH18842 | pgx_rcvllコマンドを利用すると、意図しない状態にリカバリされる場合があります。   |
| PH19877 | プライマリサーバでシステムカタログを更新すると、その内容がスタンバイサーバに反映されない場合があります。  |
| PH19883 | 一括INSERTのFOR句に整数型のホスト変数を指定したSQL文が、異常終了する場合があります。  |
| PH19944 | pgx_set_master_key関数を実行中にインスタンスがダウンすると、インスタンスの起動または昇格に失敗する場合があります。                                  |
| PH19948 | データベースがダウンした際、Connection Managerの透過的接続の支援機能を使用して接続していたアプリケーションが通信待ちで無応答となる場合があります。                  |
| PH19967 | pg_hint_planを使用した場合に実行計画が制御できない場合があります。   |
| PH20170 | Global Meta Cache機能利用時に、DROP DATABASEを実行後データベースが無応答になる場合があります。                                      |
| PH20287 | Connection Managerのconmgrプロセスにおいてメモリーークやプロセスの異常停止が発生する場合があります。                                      |
| PH20433 | 二相コミットでシステムカタログを更新すると、その内容がその後のトランザクションにおいて参照できない場合があります。   |
| PH21927 | カラム型インデックス(Vertical Clustered Index: VCI)を使用しているとpg_dumpおよびpg_dumpallにより採取したバックアップがリストアできない場合があります。 |
| PH21953 | pgx_dmpallコマンドを実行したとき、接続が1つ余分に使用されます。また、不要なエラーメッセージがデータベースログに出力される場合があります。                          |
| PH22729 | Mirroring Controllerのデータベースプロセスの監視において設定値よりも短い時間で異常が発生したと判断されてしまう場合があります。                           |
| PH22743 | OpenSSLの変更を本製品に反映します。   |
| PH22849 | OpenSSLの変更を本製品に反映します。   |
| PH22998 | クライアント認証時、監査ログに「connection authorized:」を含む文が出力されない場合があります。  |
| PH23013 | マニュアル「クラスタ運用ガイド(データベース多重化編)」で、synchronous_commitのパラメータで設定させるべき値を「推奨します」と記載していました。                   |
| PH23062 | クライアント認証時、監査ログの「connection authorized:」を含む文の出力内容が不当な場合があります。  |
| PH23068 | レプリケーションのコネクション認証時に出力される監査ログが不当な場合があります。  |
| PH23090 | 透過的データ暗号化機能により暗号化されたテーブル空間が含まれるインスタンスをpg_upgradeコマンドでアップグレードすると、異常終了する場合があります。                      |
| PH23112 | PostgreSQL 15.1、15.2、15.3、15.4で吸収された障害修正を、Fujitsu Enterprise Postgresに反映します。                        |
| PH23183 | バックアップの管理ツールであるpgBackRestを提供します。  |

## Fujitsu Enterprise Postgres 15のプログラム修正一覧

| 障害番号    | 障害内容  |
|---------|---|
| PH16261 | WebAdminを使用して同期スタンバイインスタンスを削除した場合、マスタインスタンスのパラメータ <code>synchronous_standby_names</code> にアプリケーション名が残ります。 |
| PH18843 | トランザクションログの二重化機能有効化時に、不要なWARNINGメッセージが出力される場合があります。   |
| PH19098 | pgauditを利用しているとSQLがエラーになる場合があります。   |
| PH19668 | ODBC データソース アドミニストレーターからODBCドライバの高度な設定を実施すると、MyLogの設定が自動的に有効となり、その後無効化できなくなります。                           |
| PH19947 | データベースの切り替えが発生後、Connection Managerを使用して接続していたアプリケーションがデータベースへ再接続できない場合があります。                              |
| PH20434 | スタンバイサーバでメタキャッシュがGMC領域に配置されない場合があります。   |
| PH20625 | Oracleデータベース互換機能を使用するとエラーとなる場合があります。  |
| PH21161 | Mirroring ControllerによるOS異常検知時に、裁定サーバのフェンシングコマンド 実行後に自動切り替えや自動切り離しが失敗する場合があります。                           |
| PH21305 | <code>mc_ctl status</code> コマンドを実行した際にネットワークやCPUの状況などによってステータスがunknownになる場合があります。                         |
| PH21560 | CONNECTクラス(接続に関するイベント)における切断を監査ログに出力する パラメータ <code>audit_log_disconnections</code> を新規に追加します。             |
| PH22445 | GINインデックスを持つテーブルに対してSQL文やVACUUMを実行すると、誤った検索結果が返却されたり、プロセスが異常終了する場合があります。                                  |
| PH22603 | 鍵管理システムをキーストアとして使用する場合の透過的データ暗号化の運用において、マスタ暗号化キーを変更すると、WALの適用が失敗する場合があります。                                |
| PH22741 | シングルユーザーモードで起動するとpostgresプロセスがコアダンプして異常終了する場合があります。   |